

(資料 研究④-1)

「出生前検査に関する支援体制のための研究：
1次調査 医療機関調査」

のアンケート調査用紙

(資料 I -3) 「出生前検査に関する支援体制のための研究：1次調査 医療機関調査」

のアンケート調査用紙令和3年10月

調査へのご協力をお願いいたします

<< のご案内は医療機関ごとに1通のみ郵送しています >>

令和3年度厚生労働科学研究 成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業
「出生前検査に関する妊婦等の意識調査や支援体制構築のための研究」

研究代表者：白土なほ子
昭和大学医学部 産婦人科学講座

■ 差出人・返送先 ■

〒142-8555 東京都品川区旗の台1-5-8
昭和大学医学部 産婦人科学講座

— 医療機関向け アンケート調査へのご協力のお願い —

【研究概要】

本研究は、出生前検査によって胎児に異常が認められた妊婦やパートナーに対する支援方法や支援体制の充実が重要であるという視点で、出生前検査にかかわる医療や医療体制を改善するための基礎的な情報を収集する目的で計画されました。このご案内は、国内にある病院・クリニックで、周産期に関連する遺伝カウンセリングや出生前検査を行っていると考えられる医療機関に対し施設ごとに1通だけお送りしています。

なお、このご案内の郵送先の先生が、NIPT コンソーシアムに加入されていて、かつメールアドレスをご登録いただいていた場合には、同じ案内をメールでも送信しております。重ねてのご案内をご了承くださいますよう、お願い申し上げます。

【方法と期間】

- 『Google フォーム入力と送信』または『同封したアンケート用紙への記入と返送』どちらかの方法で回答をお願いしています。1 施設 1 回答です。このご案内を受け取られた方（施設代表者）が回答されてもかまいませんし、施設代表者の方がアンケートの内容をご覧になり、自施設内の他の医療従事者の方（代理回答者）に回答を委託されてもかまいません。同じ施設から複数の回答はご遠慮ください。
- 回答期間は2021年10月20日から2021年11月5日です。郵送の場合は、2021年11月5日の消印まで有効とします。Google フォームのQRコードおよび留意点は次のページをご確認ください。

【同意と中止】

- この研究への参加は任意です。参加の謝礼金はありません。今回の調査に参加されなくても、あなたやあなたが所属する医療機関が不利益を受けることはありません。
- 『Google フォーム入力と送信』では、回答を送信（完了）するまではいつでも自由に研究への参加を中止することができます。また、『同封したアンケート用紙への記入と返送』では、投函されるまで自由に参加をとりやめることができます。どちらの方法でも、送信あるいは郵送されましたら、本研究への参加に同意されたものとみなします。

【データの取り扱い、結果報告など】

- この調査は昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会の承認のもと行われています。個人を特定できる情報は含まれませんが、施設名や職業についての設問があり、これらの情報の保護については最大限の防御策をとっております。
- 回答されたデータにアクセスする権利は、研究責任者と研究分担者に加え、研究責任者が指名した者のみとし、研究グループ以外の第三者には提供しません。回答されたデータは、調査終了後5年間保管し、保管期間を過ぎた場合、サーバー並びに解析用のパソコンから情報を消去します。
- この調査研究により得られた結果は、個人が特定されないようまとめた形で、今後の研究資料として活用させていただきます。調査結果は学会発表、学術雑誌並びに書籍への掲載などによって公表します。

【その他】

この調査研究の実施に必要な費用は、令和3年度厚生労働科学研究 成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業「出生前検査に関する妊婦等の意識調査や支援体制構築のための研究」（研究代表者：白土なほ子 昭和大学医学部産婦人科学講座）の研究費の一部を用いて実施されています。調査終了後には厚生労働省のホームページの厚生労働科学研究データベースに報告書が公開されますので、どなたでもご覧いただけます。

【回答方法】

『Google フォーム入力と送信』または『同封したアンケート用紙への記入と返送』どちらかの方法を選んでください。

1 施設 1 回答です。この研究の案内を受け取られた方（施設代表者）、あるいはその方が指名された自施設内の医療従事者の方（代理回答者）、どちらかお一人からのご回答をお願いいたします。回答の内容によって記入いただく設問数が変わります。記入にかかる時間は、5～10 分程度です。

1) Google フォーム

URL: www.nipt.info

右の QR コードからもアクセスできます（スマートフォン、タブレット）。



Google フォームでは回答者のメールアドレスを記入する欄（必須項目）があります。メールアドレスを記入されたくない方は、郵送での回答をお選びください。

2) 郵送

このご案内に同封されているアンケート用紙にご記入いただき、ご返送ください。メールアドレスの記入は必須ではありません。

【回答にあたっての留意点】

- 同じ施設名から複数の回答が確認された場合には、『Google フォーム』の回答を採用します。また、『Google フォーム』に同じ施設名から回答があった場合には、送信された日時が遅い方を採用します。
- 所属する医療機関の施設名をご記入いただきますが、回答者の個人名の記入は必須ではありません。

【二次調査】

本研究では、今回の調査の後に、【出生前検査陽性】症例の診療に携わっている医療従事者個人に対する調査を予定しています。具体的には、今回の調査において『妊娠 22 週未満で診断された【出生前検査陽性】症例に対応している』と回答し、かつ『二次調査への協力について承諾する』を選択された方に限定して、今年 11 月以降に本研究班より二次調査についての詳細案内をメールで送付します（郵送での案内はいたしません）。

本研究における今回の調査と二次調査の概要は、別途【ご参考資料】をご参照ください。二次調査につきましても参加をご検討いただけましたら、たいへんありがたく存じます。どうぞよろしくようお願い申し上げます。

令和 3 年度厚生労働科学研究 成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業
「出生前検査に関する妊婦等の意識調査や支援体制構築のための研究」
研究代表者：白土なほ子

昭和大学医学部 産婦人科学講座
〒142-8555 東京都品川区旗の台 1-5-8
E-mail : nahoko-s@med.showa-u.ac.jp

【ご参考】

「出生前検査に関する妊産婦等の支援体制構築のための研究」 医療機関および医療従事者を対象とした調査の概要

今回の調査

医療機関を対象にした実態調査

- 1施設1回答
研究調査のお願いを受け取られた代表者の方（施設代表者）、もしくは、その施設代表者が指名した自施設内の担当者（代理回答者）どちらかおひとりが1回だけご回答ください。
- 回答方法
【Googleフォーム入力】または【同封したアンケート用紙への記入と返送】どちらかの方法を選んでご回答ください。同じ施設名から複数の回答が確認された場合には【Googleフォーム】の回答を採用します。なお、回答者の個人名の入力は不要です。
- 二次調査との関連
二次調査では【出生前検査陽性】症例の診療に携わっている医療従事者個人に対するアンケートを予定しています。
今回の調査において、『妊娠22週未満で診断された【出生前検査陽性】症例に対応している』と回答し、かつ『二次調査への協力について承諾する』と回答された方には、本研究班より追って二次調査についての詳細案内をメールで送付します。

実施予定
2021年11月以降

二次調査

【出生前検査陽性】症例の診療に携わっている 医療従事者個人を対象にした調査

- 依頼方法
本研究班から「二次調査」に関する詳細案内（メール）が届いた施設代表者あるいは代理回答者には、自施設内の医療従事者（【出生前検査陽性】症例の診療に携わっていると思われる）に「二次調査」に関する案内メールの転送をお願いします。自施設に所属する方であれば、医療従事者の職種は問いません。
- 二次調査への協力の可否
施設代表者あるいは代理回答者から「二次調査」に関する案内メールが届いた医療従事者の方は、その調査概要をご確認の上で協力の可否をご検討ください。二次調査への協力は任意です。
- 回答方法
二次調査にご協力いただける場合には、個人で【Googleフォーム】にご回答ください。所属する施設名や職種に関する設問はありますが、個人名の入力は不要です。

令和3年度厚生労働科学研究 成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業
「出生前検査に関する妊婦等の意識調査や支援体制構築のための研究」

研究代表者：白土なほ子
昭和大学医学部 産婦人科学講座

医療機関向けアンケート用紙（1施設1回答）

本研究の協力のお願いは、周産期に関連する遺伝カウンセリングや出生前検査を行っていると考えられる医療機関に対し、**施設ごとに1通だけ**お送りしています。

『Google フォーム入力と送信』または『アンケート用紙への記入と返送』どちらかの方法で回答をお願いしています。こちらのアンケート用紙にご記入いただき返送される場合は、Google フォームへの入力は不要です。

1施設1回答をお願いしております。同じ施設から複数の回答はご遠慮ください。

回答期間は2021年10月20日から2021年11月5日です。郵送の場合は、2021年11月5日の消印まで有効とします。

職種や所属している施設についての質問です-----

1. あなた（回答者）の職種を選択してください。

（1つ選んで、☑してください）

医師（産婦人科） 医師（産婦人科以外） 医師以外

2-1. あなたの所属している医療機関の所在地を選択してください。

（1つ選んで、☑してください）

北海道 東北 関東 中部 近畿
 中国 四国 九州・沖縄

2-2. あなたの所属している医療機関の名称をお答えください。

2-3. あなたの所属している医療機関では分娩を取り扱っていますか。

（1つ選んで、☑してください）

分娩施設である

↓

設問 3

2 ページ目にお進みください

分娩施設ではない

↓

設問 8

3 ページ目へお進みください

2-3 で【分娩施設である】と回答した方への質問です-----

3. あなたの所属している医療機関の分娩数（年間あたり）を選択してください。

（1つ選んで、☑してください）

- 100 件未満 100-500 件未満 500-1000 件未満
1000 件以上

4. あなたの所属している医療機関の分娩費用（基本費用です。差額ベッド代は含みません）を選択してください。（1つ選んで、☑してください）

- 50 万円未満 50-65 万円未満 65-80 万円未満
80 万円以上

5. あなたの所属している医療機関では無痛分娩を行っていますか？

（1つ選んで、☑してください）

- 行っている 行っていない

6. あなたの所属している医療機関の周産期体制について選択してください。

（1つ選んで、☑してください）

- 総合周産期医療センター
地域周産期医療センター
大学病院（総合／地域周産期医療センターではない）
上記いずれにも該当しない

7. あなたの所属している医療機関の NICU について選択してください。

（1つ選んで、☑してください）

- NICU なし
NICU あり（5 床未満） NICU あり（5-10 床未満） NICU あり（10 床以上）

設問 8（3 ページ目）にお進みください

8. あなたの所属している医療機関は、日本医学会によって認可されている NIPT（Non-invasive prenatal test）認定施設ですか？

（1 つ選んで、☑してください）

- 認定施設である 認定施設ではない

9-1. あなたの所属している医療機関では採取した絨毛検体を使った遺伝学的検査（絨毛検査）を行っていますか？（1 つ選んで、☑してください）

※注意：この質問での「遺伝学的検査」とは、生殖細胞系列の染色体検査、SNP アレイ検査、対象を限定した遺伝子検査を示しています。

- 行っている 行っていない

9-2. あなたの所属している採取した羊水検体を使った遺伝学的検査（羊水検査）を行っていますか？
（1 つ選んで、☑してください）

※注意：この質問での「遺伝学的検査」とは、生殖細胞系列の染色体検査、SNP アレイ検査、対象を限定した遺伝子検査を示しています。

- 行っている 行っていない

10. あなたの所属している医療機関では、中期の人工妊娠中絶を行っていますか？
（1 つ選んで、☑してください）

※注意：この質問での「中期」は、妊娠 12 週以降のことを示します。また、「人工妊娠中絶」は、母体保護法 第 14 条「医師の認定による人工妊娠中絶」を示します。

- 行っている 行っていない

11. あなたの所属している医療機関では、妊娠 22 週未満で診断された【出生前検査陽性】症例について対応していますか？（1 つ選んで、☑してください）

※注意：この質問での【出生前検査陽性】とは、遺伝学的検査によって染色体疾患や遺伝性疾患が確定診断された症例と定義しています。NIPT 陽性や NIPT 判定保留、あるいは胎児形態異常の症例でも遺伝学的検査が実施されていない場合は含みません。

「対応」とは、妊婦健診、分娩、中期の人工妊娠中断、診察、遺伝カウンセリング、面接・面談などいずれかの医療行為を行っていることを示します。

- 対応している 対応していない

↓

設問 12

4 ページ目にお進みください

↓

設問 13

7 ページ目（最後の設問）にお進みください

設問 12-1 から 12-7 (4~6 ページ) は、妊娠 22 週未満で診断された【出生前検査陽性】症例について対応していると回答された方向けの質問です

【出生前検査陽性】とは、遺伝学的検査によって染色体疾患や遺伝性疾患が確定診断された症例と定義しています。NIPT 陽性、NIPT 判定保留あるいは胎児形態異常の症例でも遺伝学的検査（確定検査）が実施されていない場合は含みません。

「対応」とは、妊婦健診、分娩、中期の人工妊娠中絶、診察、遺伝カウンセリング、面接・面談などいずれかの医療行為を行っていることを示します。

1 2 - 1. あなたの所属している医療機関で対応している、妊娠 22 週未満で【出生前検査陽性】と診断された症例の数（年間あたり）について選択してください。

(1 つ選んで、☑してください)

- 1-4 症例 5-10 症例 11-20 症例
 21-50 症例 51 症例以上

1 2 - 2. あなたの所属している医療機関では、妊娠 22 週未満で【出生前検査陽性】と診断された症例への対応について、基本的な対応方針やルールがありますか？

(1 つ選んで、☑してください)

- 自施設内で決めた基本的な対応方針やルールがある
 自施設内では、特に対応方針やルールを決めていない

1 2 - 3. あなたの所属している医療機関では、妊娠 22 週未満で【出生前検査陽性】と診断された症例への対応に、次の職種はかかわっていますか？

(職種ごとに、あてはまるものを 1 つ選んで 枠内に「✓」をご記入ください)

	必ずかかわる	症例によってかかわる	ほとんどかかわらない	該当する職種がない
記入例	✓			
産婦人科専門医				
小児科専門医				
周産期専門医				
産婦人科 超音波専門医				
産婦人科 遺伝専門医				
小児科 遺伝専門医				
精神科／心療内科の医師				
看護師				
助産師				
公認心理師／臨床心理士				
認定遺伝カウンセラー®				

(5 ページ目に続きます)

(前ページからの続き)

1 2-4. あなたの所属している医療機関では、妊娠 22 週未満の【出生前検査陽性】症例が

「妊娠継続」を選択した場合に、通常の周産期管理の他に次の項目を行っていますか？

※注意：妊婦（褥婦）やそのパートナーを対象にして、【出生前検査陽性】と診断されてから母体あるいは出生した児が退院するまでの期間において行われることを想定しています。

(項目ごとにあてはまるものを 1 つ選んで 枠内に「✓」をご記入ください)

	必ず行う	症例によって 行うことがある	ほとんど 行わない	体制がない/ 行わない
記入例		✓		
NICU／小児科との連携				
精神科／心療内科との連携				
院内カンファレンスでの症例の 共有・検討				
ペリネイタルビジット				
(分娩前の) NICU 見学				
患者会・当事者会の紹介				
疾患に関する書籍／パンフレット の提供				
自治体（行政）との連携				

**1 2-5. あなたの所属している医療機関では、妊娠 22 週未満の【出生前検査陽性】症例が人工
妊娠中絶を選択肢した場合、それを自施設内で実施しますか？**

(1 つ選んで、☑してください)

- 原則として自施設で実施する
- 原則として自施設では実施しない（他施設に依頼）
- 症例によって異なる（自施設あるいは他施設に依頼）

(6 ページ目に続きます)

(前ページからの続き)

1 2-6. あなたの所属している医療機関では、妊娠 22 週未満の【出生前検査陽性】症例が人工妊娠中絶を選択した場合、「中絶後に」女性に対して次の項目を行っていますか？

※注意：自施設内で人工妊娠中絶を実施した症例だけではなく、他施設に人工妊娠中絶を依頼した症例も含めてご回答ください。例えば、他施設に人工妊娠中絶を依頼し、その後、自施設の外来を受診してもらうことも想定しています。

(項目ごとにあてはまるものを 1 つ選んで 枠内に「✓」をご記入ください)

	必ず行う	症例によって行うことがある	ほとんど行わない	体制がない／行わない
記入例				✓
産婦人科の臨床遺伝専門医による診察				
精神科／心療内科の医師による診察				
看護師との面談				
助産師との面談				
公認心理師／臨床心理士との面談				
認定遺伝カウンセラー®との面談				
相談できる（他の）医療機関の紹介				
ピアカウンセリングの紹介				
自治体（行政）との連携				

1 2-7. 二次調査についてのご協力をお願いします。

本研究班では、今後、【出生前検査陽性】症例の診療に携わっている医療従事者個人に対する匿名の二次調査を予定しています。その内容については、今回のアンケートにて「妊娠 22 週未満で診断された【出生前検査陽性】症例に対応している」と回答された方にメールでご案内いたします。

二次調査の案内メールを受信されましたら、貴施設内の【出生前検査陽性】症例の診療に携わっている医療従事者の皆さまにメールの転送をお願いいたします。職種は問いません。なお、二次調査のアンケートは Google フォームのみにて実施し、参加は任意です。

上記につきましてご了承いただける場合には、下記に二次調査のご案内を送付しても差し支えないメールアドレスをご記入ください。ご了承いただけない場合は、空欄のままかまいません。

メールアドレス記入欄	
------------	--

(7 ページ目・最後の設問に続きます)

最後の設問です-----

皆さまに回答をお願いしています。専門職の認知度についての質問です。

13. 次の職種について知っていますか？

(職種名ごとにあてはまるものを1つ選んで 枠内に「✓」をご記入ください)

	詳しく知っている	おおよそ分かる	名前は聞いたことがある	全く知らない
記入例	✓			
臨床遺伝専門医				
認定遺伝カウンセラー®				
母性看護専門看護師				
精神看護専門看護師				
小児看護専門看護師				
臨床心理士				

設問は以上です。ご協力くださいまして、誠にありがとうございました。

返信用封筒に入れて、ご投函をお願いいたします（11月5日の消印まで有効）

令和3年度厚生労働科学研究 成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業
「出生前検査に関する妊婦等の意識調査や支援体制構築のための研究」

研究代表者：白土なほ子

昭和大学医学部産婦人科学講座

〒142-8555 東京都品川区旗の台 1-5-8

E-mail : nahoko-s@med.showa-u.ac.jp